

被害シナリオ要約版【長尾断層】

行政等の対応事項 企業等の対応事項 住民の対応事項

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日	～4日	～1週間	～2週間	～1か月	～3か月	～半年	～1年超	備考
災害	地震 地震の想定 震度:3~6強	(地震動) ○県全域で震度3~6強の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生										
		建物被害の想定 全壊:2,000棟(合計) 揺れ:660棟 液状化:1,300棟 急傾斜地:20棟	○震度6弱以上の揺れが発生する地域の耐震性の低い古い建物を中心に全壊 ○液状化により建物が沈下、傾斜被害を受け継続的な居住や日常生活が困難 ○地震火災に伴う被害が発生する恐れあり	初期消火・出火防止活動	消防署・消防団の消火活動	救護活動の拠点となる病院、避難所等の自主的防災活動を優先的に実施	避難時の留意事項の呼びかけ(ブリーカー遮断等)					
人的被害	人的被害の想定 死者:40人 負傷者:1,300人 自力脱出困難者:160人	○耐震性の低い木造建物を中心に、揺れによる建物倒壊により死者が発生 ○急傾斜地崩壊や地滑りにより生き埋め等による死傷者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ、家屋内の閉じ込め等により死者が発生 ○その他、以下の理由により死傷者が発生する可能性あり ・屋外転倒物や屋外落下物 ・屋内において、固定していない家具の移動や転倒等 ○倒壊建物等への閉じ込めによる要救助者の発生										
		自身の安全確保(安全確認・安否確認) 家族の安否確認	倒壊家屋からの救助活動(地域)	消防署、警察、自衛隊の連携した救助、救出活動	顧客・社員の安全確保(安全確認、緊急避難) 社員及びその家族の安否確認							
ライフライン被害	ライフラインの被害想定 上水道(断水人口):205,000人(21%) 下水道(機能支障人口):12,000人(2%) 電力(停電軒数):153,000軒:26% 通信(不通回線数):51,000回線(21%) 都市ガス(供給停止戸数):29,000戸(34%)	○震度6弱以上の地域全域が停電 ○ガス供給停止、水道断水 ○下水道施設の処理が困難 ○震度6弱以上の多くのエリアで固定電話、携帯電話の利用困難			○上水道の仮復旧着手 ○下水道の仮復旧着手 ○通信が順次解消		○上水道断水が徐々に解消 ○上水道概ね復旧		○下水道概ね復旧		○都市ガス概ね復旧	
		公共機関及び医療機関における自家発電の稼働	電気・電話の復旧活動	上水道の復旧活動	下水道の復旧活動	ガスの復旧活動						
交通施設被害	交通施設被害 道路(緊急輸送道路):300箇所 鉄道:190箇所	○高速道路では道路施設被害等による通行困難 ○公共交通機関停止による帰宅困難者発生 ○点検のための交通規制、道路への建物倒壊等により通行困難 ・駅前、バス停等に帰宅困難者集結 ○中山間部で地すべりや斜面崩壊により通行機能障害が発生 ○建物倒壊などによる道路閉塞発生 ○鉄道施設の被害、地震による点検などにより不通となる箇所あり ○港湾施設の点検			○部分運行が開始 ○港湾施設の復旧、荷役作業体制確保		○高速道路が通行可能 ○鉄道の復旧					
		警察、道路管理者と連携した状況把握 緊急輸送道路の啓開、確保(道路障害物の除去等)	交通規制等による緊急輸送道路通行の確保	交通手段の確保	直轄国道、高速道路等の復旧活動	鉄道の復旧活動						

被害シナリオ要約版【長尾断層】

項目	被害想定	地震発生	行政等の対応事項										企業等の対応事項	住民の対応事項	備考
			～半日	～1日	～4日	～1週間	～2週間	～1か月	～3か月	～半年	～1年超				
災害	地震 地震の想定 震度:3～6強	(地震動) ○県全域で震度3～6強の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生													
			避難人口 4,000人	○避難所運営要員の被災 ○避難者が避難所に到着 ○サービスステーション(SS)、タンクローリーの被害 ○病院でのトリアージ医療 ○指定避難所以外への避難による混乱 ○屋外避難の発生(グラウンド、自動車) ○軽傷～重傷者が病院に集中 ○避難所の避難スペース不足 ○スーパー、コンビニでの物資不足(販売停止) ○ペットの扱いが問題化 ○自主防災組織等による避難所自主運営開始 ○ボランティア対応問題の顕在化 ○避難所内のトラブル発生 ○避難所のストレス、避難生活による血栓症等の傷病者が発生 ○避難所の長期化(解消困難) ○学校(避難所)の授業再開困難											
生活への影響			避難勧告、指示の発令、周知	避難所、仮設住宅生活者等の医療体制											
			避難所等の開設	避難生活											
			避難者の避難誘導(特に危険が存在する地域)	避難者精神的ケア											
			避難者の把握・物資の確保	ボランティアの受入れ、運営											
			避難所の状況把握												
			仮設トイレ・し尿処理の手配												
			生活物資の確保	住民による避難所、仮設住宅の自治、運営											
			医療施設の被害状況把握	仮設住宅の建設											
			傷病者等の搬送	地域医療の充実											
			重傷者の災害医療活動拠点への緊急搬送	医師・精神科医の派遣											
		軽傷者の帰宅支援、避難所受入れ	人工透析患者等の日常受療困難者の移送												
		県外への重傷者の移送	ヘリポートから重症患者を市域外医療機関へ搬送開始												
		医療資機材、医薬品の調達	ガレキ等の廃棄物の処理活動												
		医師・精神科医の派遣													
		人工透析患者等の日常受療困難者の移送													
		ヘリポートから重症患者を市域外医療機関へ搬送開始													
棄物等廃	災害廃棄物 44,000トン	○家屋倒壊等に伴う災害廃棄物発生 ○危険物施設等のタンク等からの石油流出 ・石油流出による火災発生													
その他の被害	エレベータの停止 1,200棟数 危険物 破損等 50箇所	○エレベータ停止に伴う閉じ込め者の発生 ○長周期地震動の発生 ・建物被害の発生 ・屋内収容物転倒・落下等による二次被害発生 ○建物被害による道路閉塞により緊急車両の通行不能 ○避難行動要支援者等のほう助 ○施設等のダメージによる公共交通機関の機能停止													
			避難行動要支援者の避難支援	特殊消防隊などによる石油タンク等の消火	企業活動の緊急継続	福祉避難所の開設要請・開設・指定避難所からの移動	企業の通常活動への復帰								